

現病院運営計画（平成 25 年度～平成 29 年度）と実施計画の構成について

運営計画基本目標	～地域に開かれた、急性期中核病院として、高度で良質な医療を提供します～
----------	-------------------------------------

運営計画における取組計画

<p>1. 医療の質の向上</p> <p>地域の中核的な急性期病院として、ハード・ソフトともに、住民や他の医療機関から信頼される自治体立医療機関として、医療の質のさらなる向上をめざします。</p> <p>(1) 高度・専門医療の提供 (3) 情報化の推進と職員教育の徹底</p> <p>(2) 医療の安全・安心の向上 (4) 医師及び看護職員の業務負担軽減</p>	<p>2. 患者サービスの向上</p> <p>患者さんの早く回復したいという切実な思いに応えるため、全ての職員が一丸となり、気持ちよく安心して医療を受けられるよう医療環境の改善に努めます。</p> <p>(1) 接遇の向上 (3) 院内環境の整備・充実</p> <p>(2) 待ち時間対策 (4) 地域への貢献</p>
<p>3. 医療連携の推進</p> <p>限られた医療資源を有効に活用するため、地域の病院や診療所との医療ネットワークに基づく地域医療支援病院としての役割を果たします。</p> <p>(1) 地域における医療機関との連携</p> <p>(2) 近隣の自治体立病院との連携</p> <p>(3) 特定機能病院との連携</p>	<p>4. 経営基盤の確立</p> <p>自治体立病院として、病院運営の健全性、透明性を確保します。</p> <p>(1) 収益の確保</p> <p>(2) 費用の抑制・軽減</p> <p>(3) 運営管理体制の構築</p>

運営計画の目標設定

1. 医療の質の向上（医療の提供）		2. 患者サービスの向上		3. 医療連携の推進		4. 経営基盤の確立	
病床利用率	95.0%	〔外来・入院患者〕 患者満足度調査結果、満足しているとの回答	前回調査を上回る	地域医療支援病院紹介率	60.0%	経常収支比率	100%
平均在院日数	13 日以内			地域医療支援病院逆紹介率	70.0%	入院診療単価	58,000 円
外来患者数（1 日平均）	1,300 人			地域連携の登録医療機関契約率（医科）	80.0%	外来診療単価	14,000 円
救急車搬送受入数	5,300 人			地域連携の登録医療機関契約率（歯科）	70.0%		
救急科からの入院患者数	4,600 人						
他の数値目標（実施計画）	◎手術件数 ◎分娩件数 ◎特別治療食の比率 ◎MRSA 院内発生率 ◎緑膿菌院内発生率 ◎セラチア菌院内発生率 ◎クリニカルパス利用率 ◎シェフのお勧めメニュー及びマチカネデリカの数 ◎現年度分・過年度分収納率（入院・外来） ◎医療材料値引率 ◎電気ガスエネルギー使用量						

実施計画における個別活動プラン

1. 医療の質の向上

(1) 高度・専門医療の提供

豊能二次医療圏における高度急性期病院として、政策医療等を中心に地域に必要とされる病院づくりに努める。

- ①医療スタッフの確保
- ②病床の効率的な活用
- ③外来診療の充実と効率的な運用
- ④救急医療体制の充実
- ⑤手術室の効率的な運用
- ⑥周産期医療の充実
- ⑦がん医療の充実
- ⑧医療資源の有効活用
- ⑨放射線の管理
- ⑩急性期におけるリハビリテーションの実施と充実
- ⑪治療に適切な食事の提供
- ⑫医療ニーズの把握と検証

(2) 医療の安全・安心の向上

患者へ安全・安心の医療を提供するため、医療安全の徹底に努め、災害時における医療体制の充実にも努めていく。

- ①医療安全対策の徹底
- ②院内感染防止対策の充実
- ③災害対応と危機管理体制の確立

(3) 情報化の推進と職員教育の徹底

ハード面でのシステム機能向上および職員の情報化に対する更なる理解を深めることで、より一層、患者の利便性や医療の質、業務効率性の向上に努める。

- ①市立豊中病院総合情報通信システムの充実
- ②個人情報保護に係る研修の推進
- ③診療情報管理の徹底
- ④クリニカルパス充実による医療の標準化

(4) 医師及び看護職員の業務負担軽減

医師および看護職員の業務負担軽減を図り、より専門性を要する業務に注力出来る体制整備に努める。

- ①医師の業務負担軽減
- ②看護職員の業務負担軽減

2. 患者サービスの向上

(1) 接遇および患者の利便性向上

患者ニーズを的確に把握することで、当院の患者満足度向上に活かしていく。

- ①患者満足度の向上
- ②接遇の向上

(2) 待ち時間対策および院内環境の整備・充実

待ち時間の短縮化および病院内で快適に過ごせるような環境整備・サービスの充実に努める。

- ①診察・各種検査待ち時間の対策
- ②売店機能などアメニティの充実
- ③食事療養の充実

(3) 地域への貢献

直接的な医療提供のみならず、当院からの各種情報発信等を通じて、患者・地域住民の健康増進に貢献する。

- ①市民向け講演会・講座の開催
- ②広報機能の充実

3. 医療連携の推進

(1) 地域における医療機関との連携

地域における医療施設との密接な信頼関係を構築し、地域完結型医療へ貢献する。

- ①地域医療支援病院機能の維持・充実
- ②病病連携・病診連携の推進
- ③4疾病を中心とした地域医療連携パスの拡充
- ④臨床検査講演会・技術講習会の開催

(2) 自治体立病院、特定機能病院との連携

地域性や自治体の意向等も考慮した上で、豊能二次医療圏内の市立病院や大阪大学医学部附属病院等との連携、機能分担を図る。

- ①圏内市立病院および特定機能病院との連携

4. 経営基盤の確立

(1) 収益の確保

患者数・診療単価・診療報酬制度といった視点に対して、迅速で適切な対応を図ること、安定的な収益確保に努める。

- ①診療報酬の適正な算定
- ②DPC/PDPS 制度への対応
- ③未収金の発生抑止と督励体制の強化

(2) 費用の抑制・軽減

スタッフのコスト意識の向上と徹底したコスト管理体制を整備していくことで、収支構造の好転につなげていく。

- ①後発医薬品導入の検討および導入効果の検証
- ②材料費の抑制・軽減
- ③光熱水費の抑制・軽減
- ④施設の計画的な整備
- ⑤医療機器の計画的な整備
- ⑥超音波装置の中央管理実施

(3) 運営管理体制の構築

あらゆる枠組みを通じて、運営管理体制を構築していくことで、安定的な経営基盤の確立に寄与する。

- ①職員のモチベーション維持向上
- ②研修制度の充実
- ③地方公営企業会計制度改正への対応
- ④病院機能評価による機能向上
- ⑤経営状況・業務実績の共有化